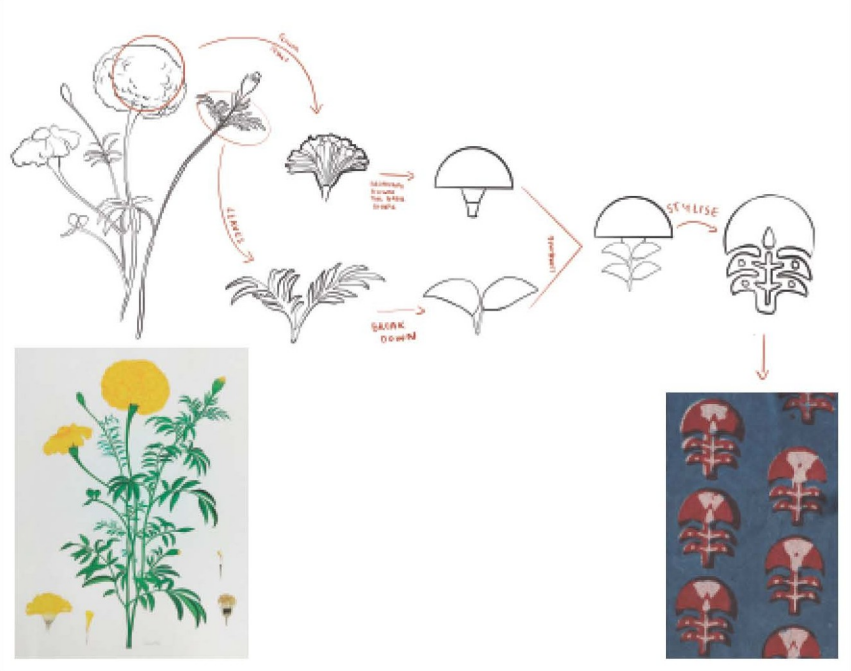


Madan Meena 氏 略歴

1974年ラージャスターン州コタ近郊のナラヴァンプル村生まれ。アーティスト、民俗学者、クラフトの復元者。
彼の出自であるミーナ・コミュニティの女性によるウォールアートの風習の研究を皮切りに、民俗研究を始め、印度文化省や英ケンブリッジ大学などの支援の元、テジャジ民謡などの口頭伝承のアーカイブ・プロジェクトを手がける。Sahapedia-UNESCOのフェローシップ及びMarwar Rathna（メヘランガード博物館財団）を受賞。25年以上に亘る研究の成果はUCLAのModern Endangered Archive Programにも登録される。
グジャラート州アディバシーアカデミーの名誉ディレクターも務め、旧指定部族の俗語研究を継続している。インドの国民言語調査のラージャスターン編にも共同編集者として貢献。近年は、国連女性計画の支援の元、ハンドブロックプリントのセンターにおける水の利用や再利用、排水の習慣の調査報告書を発表した。NID、NIFT、IICD Jaipurなど、インドの美術大学で教鞭も執る。

インド・ラージャスターン地方の民族文化・手染布研究の第一人者で、その復元プロジェクトを推進するマダン・ミーナ氏をお招きし、公開講義を開催します。
ラージャスターンの手染布は、更紗あるいはブロックプリントとして日本に紹介され、今日でもインドのを代表する布のひとつとして馴染み深い。それぞれの土地の人々に向けて作られてきた独自の柄や手法、営みがあったが、その染色材料は化学染料に置き換わり、やがてスクリーンプリントやデジタルプリントで量産されるに伴い、その営みそのものの多くは絶えてしまった。Meena氏は、そうした布の文様がすっかり失われてしまうことに大きな焦りを感じ、冬に薪として燃やされる寸前だった貴重な木版を集めて復元をしてきた。今回は、そのプロジェクトの経過と成果を伺う貴重な機会となる。

Hand printed textiles in Rajasthan

History and revival project today

ラージャスターンの木版染布 ―歴史と復元プロジェクトの現在

講演者：Dr. Madan Meena

日時：2026 年 3 月 28 日（土曜日）14 時～16 時（予定）

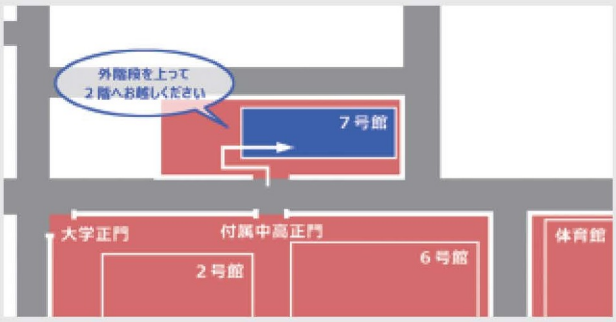
会場：女子美術大学〈杉並校舎 7201 教室〉

参加費：無料

◉ 申し込み方法

Google フォームで事前申し込み →

（〆切 3 月 26 日 17 時）



主催｜女子美術大学染織文化資源研究所

協力｜キャリコ合同会社 / 女子美術大学工芸研究室

（問い合わせ先）女子美術大学工芸研究室
042（778）6645 / crafts@venus.joshibi.jp

件名に「ラージャスターンの木版染布」と記入してください。

杉並キャンパス｜〒166-8538 東京都杉並区和田 1－49－8

東京メトロ丸の内線「東高円寺駅」下車徒歩 8 分